

2017 年 10 月 発行

編集・発行

横浜市・東京急行電鉄株式会社

〔連絡先〕 横浜市建築局住宅再生課

☎045-671-4459

次世代郊外 まちづくり通信

次世代郊外まちづくり通信は、「次世代郊外まちづくり」の
さまざまな活動をお知らせし、地域の皆さまをはじめとして
多くの方々に知ってもらうためのニュースです。

vol.20

リビングラボ勉強会 vol.1 ～リビングラボを知ろう！考えよう！～ を多くの皆さんと行いました

WISE Living Lab 共創スペースを活用した「リビングラボ※」
のスタートを目指し、勉強会を実施。リビングラボに関心のあ
る地域住民11名、企業13社、大学関係者3名、行政関係者8名
にお集まりいただきました。

第1回となる今回は、株式会社富士通総研経済研究所上席主任研究員の西尾好司氏をお招きし、「リビ
ングラボって何か知ろう」をテーマとした講演および質疑応答を行い、理解を深めました。その後会場
全体で、たまプラーザにおけるリビングラボはどのようなものか、WISE Living Lab で行ってみたい取
り組みはどのようなものかなど、活発な意見交換を行いました。

今後も勉強会を開催し、“たまプラーザ版リビングラボ”の実装を目指します。



写真提供：とくらく

※リビングラボ：住民、個人・市民、企業、大学、
行政、NPO・NGO などの、様々な関係者が参加し、
実際の生活や利用する環境を活用して、サービス
や製品、政策を共創する活動。

2017年度の 勉強会の流れ

STEP1 (今回)
学びの場を通じて
理解を深め、
自分ごと化

STEP2
個別相談
テーマ設定

STEP3
テーマによる
マッチング
チームづくり

STEP4
プロジェクトの
立ち上げ

リビングラボについてざっくばらんに意見交換！

さまざまな主体が
共有できる価値を
作れるような場に

食に関する
取り組みを
考えてみたい！

健康づくりや
高齢者支援に
関わる取り組みを
やってみたい！



地域の担い手を
発掘できるような
場所にしたい

サステイナブル
な活動を
生み出したい

子供たちの
学習支援に
つなげたい！

2017年度上期「次世代郊外まちづくり活動」の紹介

トピックス1 横浜市 - 東急電鉄 「次世代郊外まちづくり」の推進に関する協定を更新 (4月)

トピックス2 次世代郊外まちづくりの活動拠点 WISE Living Lab が全面オープン (5月)

トピックス3 次世代郊外まちづくり活動の次の5年間の活動方針および2017年度の活動内容を発表 (6月)

1 コミュニティ・担い手

地域のさらなるコミュニティ形成、まちづくりの人材の裾野拡大や持続可能な仕組みづくりのための活動

2 働き方

郊外住宅地での新たな就労のあり方や働き方の提言にむけた活動

3 保育・子育て

まちぐるみでの「保育・子育て」にむけた場の創出

4 健康

健康でいきいきと暮らせるまちづくりにむけた活動

5 暮らし・住まい

新しい暮らし・住まいの提言にむけた活動

6 情報発信

次世代郊外まちづくりの活動の積極的な発信

トピックス4 「まちづくりや地域のつながりを生む活動を応援するサポート企画」がスタート (7月)

..... 実際の様子はコチラ!

トピックス5 リビングラボの取り組み推進に向けた「リビングラボ勉強会」がいよいよスタート (9月)

初回は約50名の方にご参加いただきました!

● 健康まちづくり 連続セミナー

「健康」をテーマにしたセミナーとワークショップを開催しました。



第1回は、認知症予防や治療の最新知識、地域の取り組み等、第2回は健康に暮らすための食事について学びました。また、セミナーを通じて健康状況の変化の測定や、健康に関する製品やサービスの共創の取組みをスタートさせました。2018年3月まで11名の方にモニターとしてご参加いただく予定です。

● WISE 図書館

本を通じたコミュニティ形成や、新しいまちづくりへの参加者を募る企画をスタートさせました。



これまで「私の好きな街が出てくる本」「オススメの絵本を持ち寄ろう」をテーマに2回開催しました。

● 情報発信

まちづくり通信の発行やたまプラーザ駅ギャラリーへの展示など、情報発信に取り組みました。地域の夏祭りに合わせて開催された、WISE Living Lab 夏祭り内にて次世代郊外まちづくりのブースを設置。活動のPRに努めました。



● セカンドキャリア 地域起業セミナー説明会

セカンドキャリアとして地域で起業したり、「何か」コトを起こすスタートアップのための講座と実践アイデアづくりに向けた説明会を、青葉区と協働で行いました。



「サポート企画」の紹介

まちづくりやコミュニティ形成に関する活動に対して、WISE Living Lab 共創スペースの利用などの支援を実施する「サポート企画」をスタートさせ、地域の方にご利用いただきました。今回はその一部として、3つの事例をご紹介します。

● 街のはなし

「街のなかであなたの一番好きな場所はどこですか?」という質問からはじまるインタビューのはなしを場所の写真とともに冊子にする活動。共創スペースサポート企画第1号です。インタビューや編集作業などを行いました。



● 100段階プロジェクト

みんなとシェアするカルチャー「シェアカル」と連携して、建築家との特徴的な建物見学や、カメラマンと素敵な撮影スポットを探しなど、たまプラーザの街歩きツアーを行っています。



● 折り染ワークショップ

美しが丘育ち姉妹が企画。アメリカ在住アーティストによる子ども向けのワークショップ。和紙を折って染めてうちわとノートを作りました。



企画してみよう (利用者の声)

今回はペイントを子どもたちと使用したので汚れに気を使いましたが、それ以外は問題ありませんでした。天井が高い為、ゆとりがある空間が心地よく、使いやすいですね。

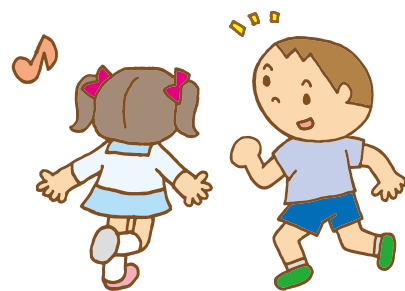
まだまだ募集中! サポート企画

まちづくり活動、趣味や特技を通じて「地域のつながり」をつくる活動をサポートします!

【詳細】ホームページ <http://sankaku-base.style/>



まちぐるみでの子育てを目指して 『ファミリーリソースプロジェクト』 が始動します！



12/9
土

2014年から、たまプラーザの周辺にて子ども、子育て家庭のたくさんの声を聞き、接していच्छる、地域の学校、保育所、子育て支援関係者参加のもとに「子ども・子育てタウンミーティング」を実施。このまちが子ども、大人も健やかに過ごせる場所であり続けるためにはと対話を重ねてきました。

計11回のタウンミーティングを実施する中で出た、さまざまなアイデアや意見をもとに、今年度新たに、**地域の子育て家庭も、支援側も集まれる機会や場をつくる『ファミリーリソースプロジェクト』**が始動します！初回は12月9日（土）。WISE Living Lab の共創スペースを中心に、子育てに関するセミナーや、子どもグッズ交換会、さらに本を使ったワークショップを実施する予定です。

詳細はおって HP 等でお知らせします！



当日は本を使ったポップ作りも行います



過去の子ども・子育てタウンミーティングの様子

● アンケート調査にご協力いただき ありがとうございました

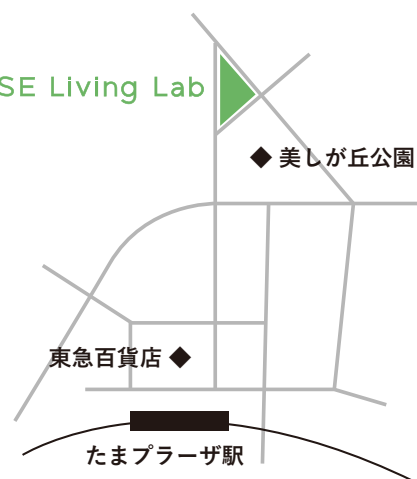
横浜市と東京急行電鉄株式会社が 2012 年度から推進してきた『次世代郊外まちづくり』の推進に関する協定」を、2017年4月1日に更新したことを受け、これまでの5年間の取組みによる効果やご意見を伺うために、美しが丘1丁目～3丁目にお住まいの全世帯を対象に、アンケート調査を実施しました。ご協力いただき、ありがとうございました。

いただいた回答・ご意見については集計のうえ、追って調査結果の概要をみなさまにお知らせするとともに、今後策定する来年度以降の活動計画の参考にさせていただきます。

※アンケートに関するお問い合わせは、お手元の封筒に記載の『次世代郊外まちづくり』モデル地区アンケート事務局 電話：0120-456-047(フリーダイヤル)までお願いします。

● WISE Living Lab案内

WISE Living Lab



ホームページ <http://sankaku-base.style/>

次世代郊外まちづくり
WISE CITY



<http://jisedaikogai.jp/>
Web サイトはこちら



横浜市



東急電鉄